

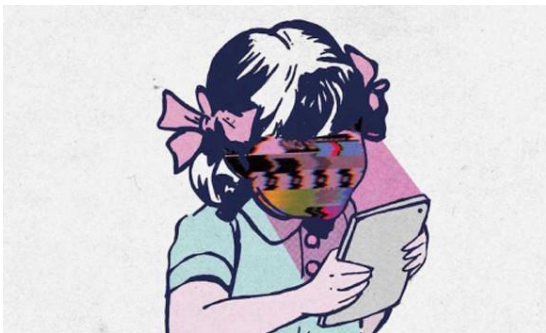
# 一歩

## 夏休み メディコン会議

夏休みが明け、10日間が過ぎようとしています。

夏休み期間中に、テレビ、スマホ、ゲームなどのメディアについて家族で話し合いをするようお願いしました。大形中学校では、この話し合いを「メディコン会議」と呼んでいます。メディアに限りませんが、中学生の時期に自己を「コントロールできる」ようになることや、「コントロールするきっかけづくり」はとても大切です。中学校生活をより充実したものにできるように取り組む挑戦です。

生徒にとって、スマホやゲームは許せばいくらかでも時間を費やせるものです。街中で小学校に上がる前くらいの小さな子どもが親と一緒にいて、長時間子ども一人でゲームをしている姿を見ます。あるいは、親にスマホやタブレットを使いたい、見たいと駄々をこねている小さな子どもを見ることがあります。このような様子を見ると、その子は小さな時から保護者がゲームやスマホ、タブレットを与えているのだらうと思われれます。保護者が、子どもの面倒を見る手間をゲームやスマホで少なくする道具として使われているのであれば、その子は自分が意識する前に、ゲームやスマホといったメディアにどっぷり浸かってしまい、中学生になってからコントロールしよう、がんばりましょうと伝え、がんばろうと思っても、その子自身の力だけでは難しいかもしれないと推測できます。中学生のみなさんも、近い将来自分自身も小さな子どもの保護者になるかもしれません。自分自身のこととしてとらえるのはもちろん、自分が親という立場になったことを想定して考えてもらえるとうれしいです。



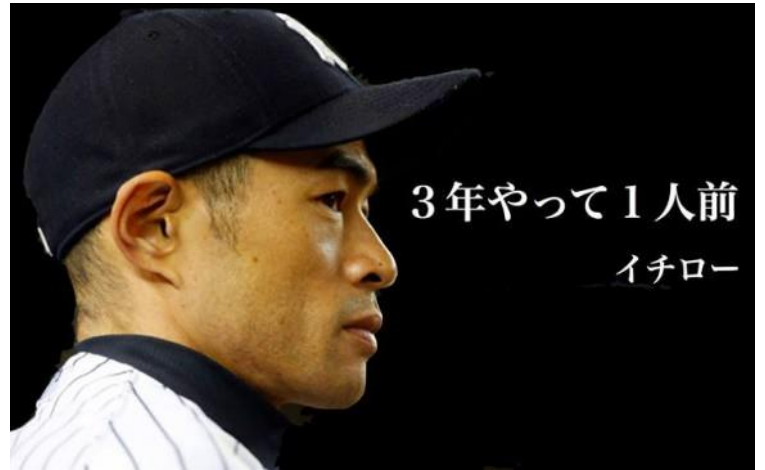
今現在、みなさんの中にすでにゲームやスマホを遠ざけることを自分でコントロールできない、やらないとイライラしてどうしようもないという人もいるのでしょうか。

今回のメディコン会議のような機会を「やってみる」機会としてとらえ、「自分を変える」「自分を伸ばす」チャンスとして考えられると、より前向きに取り組めるのではないのでしょうか。チャンスや時間が同じように与えられたとき、取り組む人と取り組まない人とは、考え方や身につく行動、そしてその質に差が出ます。時間が経つにつれ、その差はどんどん大きくなります。



話がそれてしまいましたが、あなたの家庭でのメディアコン会議はどうだったでしょうか。

3年生のみなさんにとって、自分の生活をメディアに弄ばれるかのように浪費するか、自分の目標を実現するために進路に向けた学習などに集中して取り組むか、何(メディア?学習?)に、どれだけ(量)、そしてどのように(やり方)取り組めたかの違いにより、狙える目標点や志望校が異なることでしょう。メディア漬けのような時間の使い方をしていたら、目標を叶えるどころか、目標を下げた志望校選びにしなければいけないことも考えられます。



特別学習は、9月・10月の特別学習進度予定表を月曜日に配付しました。今は、大空祭の練習に気持ちが向いていると思いますが、家庭に帰ったら、体育祭モードから気持ちを切り替えて取り組んでください。

目標を叶えるためには、その直前の取り組みだけでなく、積み重ねの努力が「実力」と「自信」の裏付けになっていくのです。

小さいことを積み重ねるのが  
とんでもないところへ行く  
ただひとつの道だと思っています。

by イチロー

